

指定管理者制度活用事業 評価シート

1. 基本事項

施設名称	麻生区第3グループ(白山・麻生)	評価対象年度	平成25年度
事業者名	・事業者名 公益財団法人かわさき市民活動センター ・代表者名 理事長 小倉 敬子 ・住所 川崎市中原区新丸子東3丁目1100番地12	評価者	こども支援室長
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	所管課	麻生区こども支援室

2. 事業実績

利用実績	1 白山こども文化センター ①年間延べ利用者数 25,458人	②年間延べ利用団体数 447団体																		
	2 真福寺小学校わくわくプラザ ①登録者数 170人	②年間延べ利用者数 7,992人																		
利用実績	1 麻生こども文化センター ①年間延べ利用者数 19,635人	②年間延べ利用団体数 469団体																		
	2 麻生小学校わくわくプラザ ①登録者数 410人	②年間延べ利用者数 12,790人																		
収支実績	<p style="text-align: right;">単位:円</p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td>1 収入</td> <td></td> </tr> <tr> <td>指定管理料</td> <td style="text-align: right;">78,201,224</td> </tr> <tr> <td>2 支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>人件費</td> <td style="text-align: right;">68,676,992</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td style="text-align: right;">5,126,423</td> </tr> <tr> <td>事務費</td> <td style="text-align: right;">7,052,754</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td style="text-align: right;">94,340</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td style="text-align: right; border-top: 1px dashed black;">80,950,509</td> </tr> <tr> <td>3 差引</td> <td style="text-align: right; color: red;">-2,749,285</td> </tr> </table>		1 収入		指定管理料	78,201,224	2 支出		人件費	68,676,992	事業費	5,126,423	事務費	7,052,754	その他	94,340	合計	80,950,509	3 差引	-2,749,285
1 収入																				
指定管理料	78,201,224																			
2 支出																				
人件費	68,676,992																			
事業費	5,126,423																			
事務費	7,052,754																			
その他	94,340																			
合計	80,950,509																			
3 差引	-2,749,285																			
サービス向上の取組	こども運営会議、保護者懇談会、近隣町会・自治会、利用団体等、日常の利用者や地域との良好な関係を保ちながら利用者ニーズを把握し、運営に反映させている。また、グループ単位のスケールメリットを活かした交流事業等を実施している。																			

3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
事業の推進	事業推進 及び 事業成果	順調に事業の推進が図られているか	10	4	8
		事業計画に基づき、こども文化センター事業とわくわくプラザ事業を着実に実施したか			
		こども文化センターの利用者数に増加傾向が見られるか			
		わくわくプラザにおいて、適切に児童を受け入れているか			
<p>(評価の理由) 地域ボランティアや白山保育園の保育士、栄養士の協力を得て実施する乳幼児親子対象の「びびよらんど」、職員が直接実施する「まころん」、乳幼児親子支援団体による子育て悩み相談「みどりのへや」を定期的に行うなど、乳幼児親子の交流や相談・支援等を積極的に実施しており、乳幼児親子の利用者増や親子交流の促進につなげている。防音設備のある音楽室を近隣の中学校等に積極的にPRするなど、広報を継続的に行っているなかで、中高生から成人まで幅広い年齢層のバンド活動の利用があり、特に夜間はほぼ毎日使用されており、利用団体数が増加している。地域の畑を借り野菜の栽培や鈴虫、蚕の飼育、天体観測などを実施し、自然や命の大切さを学べる機会の場を提供している。事業計画、仕様書のとおり事業が実施されており、年間延べ利用者数は昨年度と比べ3.7%増加している。わくわくプラザにおいても適切に児童の受入れが行われている。</p>					
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理及び金銭管理をしているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づき適切な支出をしているか	5	3	3
		効率的な執行等、経費縮減に具体的に取組んでいるか			
		サービスの水準を確保しているか			
	支出に見合う効果が得られているか				
<p>(評価の理由) 会計処理及び金銭管理について適切に行われている。全20グループ53施設を管理している運営法人のスケールメリットを生かし、一元的な臨時職員の雇用・管理、警備等業務委託の一括契約、消耗品・備品の一括購入等の取組みによる経費削減を図るとともに、その剰余金を児童用図書、遊具等の備品購入や施設の整備・修繕による環境整備に充て、利用者に還元している。</p>					

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業の周知に積極的に取り組んでいるか	5	3	3
	利用者への対応	利用者に対するサービスが適切にされているか	5	3	3
		特別な配慮を要する利用者への対応が適切にされているか			
	運営協議会の実施	こども文化センター運営協議会を実施しているか	5	3	3
	保護者懇談会の実施	わくわくプラザ保護者懇談会を実施しているか	5	3	3
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校、行政及び地域等と連携しているか	10	4	8
利用者ニーズ	利用者ニーズを把握し、事業運営に反映させているか	10	4	8	
<p>(評価の理由) 毎月のたよりの発行やホームページでの周知など、施設・事業の周知のための広報を定期的に行っている。日頃から利用者や保護者とのコミュニケーションが保たれ、特別な配慮を要する利用者への対応も適切であり、良好なサービスの提供が図られている。白山こども文化センターではこども文化センターまつりを地域の祭と同日開催したり、普段、こども文化センターの音楽室で練習している高校生、シニアバンドが禅寺中央中学校で開催されるアートフェスティバルへ参加するなど地域交流が図られている。さらに、麻生こども文化センターまつりでは「地域の方が得意なことを発表できる祭り」として参加者呼びかけ、百合丘高等学校の生徒によるダンス発表や地域で立ち上がったオーケストラが出演するなど、各こども文化センターでは、学校等と連携した特色ある事業が実施され、児童等利用者の交流施設としての機能の向上が図られている。意見箱、アンケート、子ども運営会議などによって利用者及び地域のニーズを把握するとともに、意見は行事の実施や図書、遊具等の購入などに活かされるなど、利用者ニーズを事業運営に反映させ、改善を行う取組みが行われている。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	児童福祉施設最低基準第38条の規定に従い職員を配置しているか	10	3	6
		こども文化センター及びわくわくプラザの施設管理と事業運営のために、指定管理仕様書において定める職員配置の最低基準どおりに人員を配置しているか			
		川崎市公契約条例を遵守しているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップに必要な研修を実施したか(外部研修の受講を含む)	10	3	6
個人情報等の取扱	個人情報保護に関する規定や体制を整備し、適正に取り組んでいるか	5	3	3	
<p>(評価の理由) こども文化センター及びわくわくプラザにおいて、適正に職員が配置され、利用児童数や特別な支援を必要とする児童などの状況に応じて、適切に加配がなされており、円滑な事業運営が行われている。市主催の研修への参加や市民活動センター全体、区、グループ、各施設単位で各々、計画的に研修を実施するなど、職員のスキルアップを図っている。個人情報保護マニュアルと管理体制が整備されており、個人情報の取扱いが適正に行われている。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障を来すことのないよう、施設・設備の保守点検や整備、備品管理等を適切に実施しているか	5	3	3
	利用者の安全確保	利用者の安全を確保する体制(マニュアル等)を整備しているか	5	3	3
		事故等が発生した場合に適切な対応をしているか			
		感染症予防対策や発生時において、適切な対応をしているか			
	防犯対策及び災害時の対応	施設の防犯のための工夫をしているか	5	4	4
		災害発生時に備え、マニュアル等を整備しているか			
災害発生時に確実な対応・行動を取るための取組をしているか					
<p>(評価の理由) 施設整備の保守点検や必要な補修工事が実施されており、備品の管理も適切に行われている。日常的な安全点検の実施や救命講習の受講など、安全・衛生管理に適切に取り組んでいる。また、安全管理に関する研修、事故を未然に防ぐため事例検討会、熱中症予防のための熱中症暑さ指数確認など、利用者の安全確保に積極的に取り組んでいる。災害発生時に備え、対応マニュアル等が整備されており、適切に消防訓練等が実施されている。非常食、保存水、乾パンを追加購入し、備蓄を充実させるとともに、飛散防止フィルム、遮光・防災カーテンの設置を行うなど安全性を高め、防災対策の強化に努めている。</p>					

4. 総合評価

評価点合計	67	評価ランク	C
-------	----	-------	---

5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

長年にわたって蓄積された市民活動への援助等の経験や指定管理期間以前からこども文化センター及びわくわくプラザの管理運営に携わっていた経験を活かすとともに、全市53施設の指定管理者としてのスケールメリットを活かした区8館合同事業「麻生キッズフェスティバル」の開催や職員研修の実施、及び経費縮減への取組等を行いながら、事業の推進、サービスの提供が図られている。

また、経費縮減による剰余金を積極的に活用して、備品の購入や施設の整備・改善に充て、利用者へ還元し、サービスを向上させている。

6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、こども文化センター及びわくわくプラザの利用者が安心して利用できるよう環境整備やスタッフのスキルの向上を図るとともに、利用者にとって各施設がより地域に根付いた居心地のよい場所になるよう努めていただきたい。